

私たちのめざす働きかた・働く風土

セイコーエプソン株式会社

すべての従業員が、過重な労働がなく、心身の健康を維持・増進することにより、活性化し、やりがいをもって効率的に仕事をしている。その結果、会社も永続的に発展し、企業価値を向上している。

このような「個人」と「会社」にとって共に良い働きかた、働く風土をめざす。

仕事の進め方のあるべき姿

- ・ 従業員全員がメリハリのある労働時間で就業している（やるべきときはやる。休むときは休む。）
- ・ 長時間労働を原因とする身体の病、心の病を起こさない。
- ・ 従業員の健康と企業価値の向上が両立している。
- ・ 一所懸命に仕事に打ち込み、最短の時間で効率的に成果を上げている。
- ・ 時間外労働の実施については管理職とも確認の上、必要最小限とする。

管理のあるべき姿

- ・ 短時間で成果を上げた者が評価されている。長くいるだけでは評価されない。
- ・ 法令・協定などを遵守した労働時間管理がされている。サービス残業をしない。させない。見逃さない。
- ・ 職場全体として最も効果的に成果を上げられる就業時間が設定されている。
- ・ 勝手気ままな出退社でなく、責任と計画性をもって働いている。管理職は放任せずきちんと管理している。

職場のあるべき姿

- ・ 常に共感と納得をもって仕事が進められている（部下は管理職の方針を理解している。管理職は部下の気持ちがわかる）。
- ・ 皆が生き活きと働けるように、互いに気くばり・気づき・声かけ・受けとめができています。

以上

制定 2004 年 3 月 21 日